



＊給食だより＊

令和2年10月第78号
大東市教育委員会
学校管理課
TEL 870-9102



大東市の食育
キャラクターの
トマッピーです

長かった残暑も終わり、過ごしやすい季節になってきました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋というように何をするにもよい季節ですね。また、実りの秋ということで、お米を始めとした様々な農作物が収穫される季節でもあります。生産者や自然の恵みに感謝し、食べ物を粗末にしないようにしましょう。

10月16日 世界食料デー

10月16日は国連が制定した「世界食料デー」です。10月は「世界食料デー」月間で、世界の飢餓問題や食料課題について考え、解決に向けて一緒に行動する1か月です。

世界の飢餓人口は8億2000万人以上とみられ、世界総人口のおよそ9人に1人が飢餓に直面しています。この飢餓人口はここ数年連続でゆるやかに増加しています。一方、日本ではまだ食べられるのに賞味期限切れや食べ残しなどで大量の食べ物が捨てられています。

このように捨てられている食品を「食品ロス」といいます。

食べ物をごみにしないで!!

せっかくつくられた食べ物も、わたしたちが食べ残してしまえば、そのままごみとして捨てられてしまいます。自分で選んで食べる時は食べられる量を盛り付ける、苦手な食べ物でも一口だけ食べてみるなど、食べ物をごみにしない方法を考えてみましょう。

こんな理由で食事を残していませんか？



食品ロスについて考えてみよう!

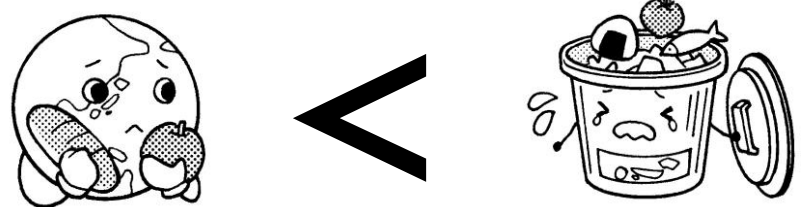
日本では、出荷された食べ物の約30%以上が捨てられており、そのうち22%が食品ロスで捨てられています。

世界中には飢餓状況により毎晩空腹のまま眠りにについている人が8億人以上います。飢餓状況で困っている国に対して、色々な国が食糧援助を行っています。その世界全体の食糧援助の量は約380万トンですが、なんと日本の食料ロスは、これを大きく上回る、約643万トンでした。この状況をみなさんはどう思いますか？

2019年の5月には食品ロスの削減を目指す「食品ロス削減推進法(食品ロスの削減の推進に関する法律)」が公布されました。大切な食べ物を無駄にしないために、わたしたちにできることを考えてみましょう。

世界全体の食糧援助量
約380万トン

日本の食品ロスの量
約643万トン



中学校給食の視察がありました!

9月14日(月)に中学校給食の視察があり、住道中学校に八尾市教育委員会の訪問がありました。

大東市の中学校給食は平成25年9月より、デリバリー方式のホット給食(温かい給食)という形で始まり、この9月で8年目になります。

今回の視察では、まず校長先生との質疑応答が行われました。その後、給食の再加熱を行っている配膳室と、教室での準備や喫食の様子を見学されました。給食当番が運搬の様子を見て、生徒の元気な挨拶やてきぱきした動きに八尾市の方々は大変感心をされていました。

大東市の中学校給食としても給食時間の確保など様々な課題がありますが、中学校給食の内容の充実と質の向上を目指して、他市との情報交換も行いながら引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



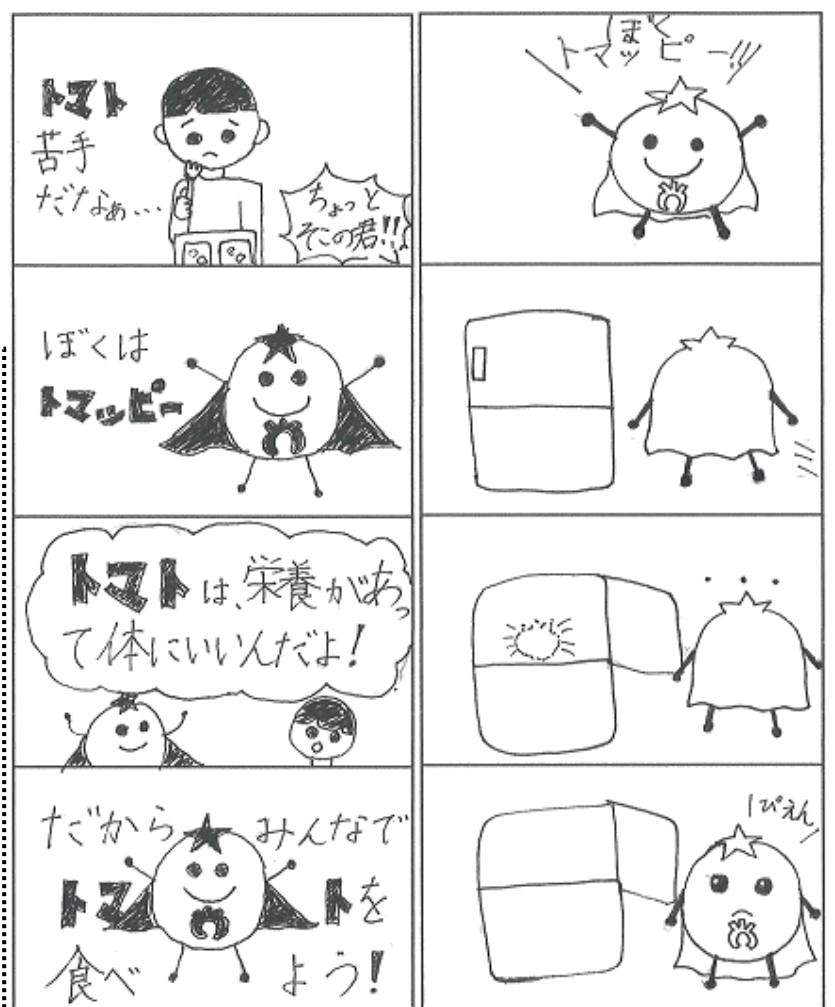
①配膳室見学(栄養教諭による説明) ②給食時間の教室見学

トマッピー4コマ劇場

今月号は谷川中学校のみなさんから寄せられたトマッピー4コマ漫画を紹介しつます。原稿は引き続き受付けていますので、みなさんどしどし応募してくださいね!

トマッピー4コマ漫画の原稿、提出について

- ①ストーリー：給食や栄養・食べ物の話をテーマに4コマにまとめてください。
- ②原稿サイズ：縦15cm・横6cm(印刷するためははっきり鮮明に描いてください。)
- ③提出方法：教育委員会学校管理課あてに・中学校名・年組・氏名(掲載時にはペンネームを希望する場合は原稿の裏にペンネームを記入)を記入した封筒に入れて、担任の先生や教頭先生に預けてください。



ペンネーム：
カキピー(谷川中1年)

ペンネーム：
もれん(谷川中1年)